

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズボンド竹鼻		2025 年 12月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・活動室のマット、ハンモックの使用を工夫している。 ・学習室、活動室の広さは十分にある。	混雑しやすい時間帯には動線が重なりやすいため、空間の活用方法を見直していきたい。 ・学習室と活動室の間に小窓を作ったらどうか。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10	0	・職員は児童2名に対して約1名の配置になっている。 ・急な変更にも対応できる配置はできている。	個別支援が重なる時間帯で、より細やかな対応ができる環境を整えたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・来所してトイレや手洗いを済ませるための動線が確保されている。 ・玄関外の段差以外はバリアフリー。学習室、活動室と分けられ構造化されている。 ・安全第一に配置の変更、撤去を行っている。	初めての児童や見通しを持ちにくい児童にとっても、より分かりやすい環境となるよう、掲示物やゾーニングの工夫をさらに深めていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	・毎日の清掃、ハンモックなど定期的に洗濯。 ・学習室の床マットの汚れが気になる。 ・机やいすの老朽化が気になる。 ・落ち着いて過ごす学習室と活発に動ける活動室と分けられている。 ・安全計画に沿っている。	・活動後の切り替え時に環境が乱れやすい場面が見られるため、子どもと協力して取り組む片付けルーティンを今以上に確立していくと良いかもしれない。 ・机やいすは安全に使用する為、交換、購入を検討。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	・職員室や相談室などクールダウンできる環境がある。 ・フロアマットやジョイントマットで場所を作る。 ・児童が痙攣を起したときなどクールダウンできる場所で職員が付き添っている。	細かくフレキシブルに仕切れるパーティションがあるとよいかもしれない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・受け入れ前ミーティング、支援後に話し合いを行っている。 ・児童達が帰った後、職員同士で当日にあった支援などについての共有をしている。	受け入れ前MT同様、短時間で参加しやすいミニMTなど実施してもよいかもしれない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・年1回評価表を配布し把握している。	送迎時に把握した意向等についても、より正確に受け止められるようにしたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・普段からコミュニケーションを取っている ・受け入れ前ミーティング、職員会議でだれでも発言する機会がある。 ・職員一人一人のいろいろな意見が取り入れられている。 ・意見を発しやすい雰囲気がある。	簡易メモや短時間の意見交換の場を取り入れるなど、これまで以上に、意見を集めて改善につなげる仕組みづくりをしていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・定期的に社員研修があり、必要に応じて外部研修を受けている。 ・障害の基礎知識が身につく。 ・支援プログラムを作成し、HPで公表している。	職員同士でも事例の共有を行ない、学びの機会を増やしていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・保護者と半年に1回モニタリングを行い、その中でニーズ等の確認をしている。 ・複数の職員がアセスメントを行うことでいろいろな視点から適切な計画を立てている。	アセスメントの質向上に向け、記録方法や情報共有の工夫を進めたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・ASISTなどは複数の職員で行う。ASISTの結果に基づき意見交換している。	アセスメント内容の事前共有や短時間打合せの機会を増やし、十分に検討できる体制づくりを図りたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・個人記録とセットにし、いつでも確認ができるようにしている。 ・資料や計画がパート職員にも目にしやすいよう工夫されている。	職員会議をもう少し実施し、全体の共有ができるとうい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・ASIST、Vineland-IIを使用している。また個人記録を毎日記録し確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・自分自身がもう少し理解しておきたい。 ・個々の児童の状況、利用日数の現状にも配慮し、実現可能な範囲をスーパーバイズにより探って必要な支援を設定する工夫をしている。	職員間で確認項目を統一し、児童ごとの支援内容をより具体的に設定できるよう取り組みたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・担当者が案を考え、職員間で話し合っている。複数の職員でチェックしている。	職員間でのアイデア共有や、短時間ミーティングをさらに充実させていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・運動、手先、認知、食育、お出かけなど前月と重ならないようにし、担当を変えたり、児童の意見も取り入れている。	季節行事や児童の興味を取り入れ定期的に検討し、プログラムの幅を広げていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・個別課題をカテゴリー化・パターン化していない。 ・必要に応じて個別の対応を行ったり、道具の作成か購入。	児童の当日の状況や興味を共有する仕組みを整え、計画への反映をさらに丁寧に行なえるようにしたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・注意点や流れを共有している。 ・LINEにて児童の情報や保護者からの要望が共有されるのでその日に勤務していない職員にとってありがたい。	・事前チェックリストにより、支援内容の確認も一層確立させていけたら良いかもしれない。 ・開始前、ミーティングができなかったことがあった。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・気になった児童について話し合っている。 ・記録の記入を行いながら、それぞれの児童について一日の中での支援について話している。	気づきの要点を簡潔に整理できる仕組みを整え、より継続的に支援改善へ生かせる体制づくりを進めたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・毎日、記録をしている。 ・時を置かず臨機応変に対応している。 ・毎日の支援記録や行事記録により支援内容の改善点を探っている。	記録内容の整理方法を工夫し、検証結果をより計画的な支援改善につなげていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・保護者様と定期的なモニタリングを行い、ご家庭の様子など伺いながらニーズ、課題の把握を行っている。	得られた気づきを職員間でより共有しやすく整理し、計画の見直しに一層反映しやすい仕組みづくりを進めたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・地域交流はゴミ拾いなどを行っている。地域のお祭りにお出かけもしている。 ・地域交流は、お出かけが主になっている。	外出前後の準備や振り返り活動、活動テーマの工夫を取り入れ、基本活動をより複合的に組み合わせられるよう改善を進めたい。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・活動の参加、おやつなどの選択の機会を意識して増やしている。	選択肢の提示方法や選ぶ際の言語化支援をさらに充実させたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児発管が中心に参加している。	情報共有や打ち合わせの強化により、他の職員も多角的な視点で状況を伝えていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・事業所での様子を保護者様を通して伝えられている。	情報整理の方法を工夫し、必要な支援内容がより確実に共有されるようにしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・普段は保護者様を通してだが、送迎時、担任教諭と話すことはある。 ・個々にたずねたりしていることはあると思う。	必要に応じてメモで確認事項を整理し、学校との情報共有がよりスムーズに行えるよう工夫していきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・在籍中に情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	2	・まだ該当する児童がいない。	今後、しっかり情報共有の場などを設けていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	・発達支援センターの研修に参加することもある。 ・福祉課担当に助言を受けたり、連絡会議などに参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・公園等で遊ぶお出かけなど地域の児童とのかかわりが持てる時もある。	児童の興味や特性に合わせて、地域での活動先の選択肢を広げられるようにしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	・児発管が主に参加。児発管が参加できない時は他の支援者が参加するようにしている。	より多くの職員が協議会の内容を共有できるよう、情報共有の方法をさらに工夫したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時、連絡帳、LINE、モニタリング時に状況などを伝え合っている。	こどもの変化をより丁寧に取得できるよう、情報交換の機会や方法を充実させたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	・ご家族の参加できる研修の機会がない。	保護者が必要な情報にアクセスしやすいよう、身近で実践的な支援情報を日常的に共有できる工夫を進めていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に説明を行っている。 ・契約時の説明のほか、質問にも応じている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・モニタリングなどの機会に保護者様のニーズを確認したり、児童にも尋ねている。 ・普段から児童から意見などが出るので取り入れている。	意向確認の機会をさらに工夫し、より丁寧に反映できる体制づくりを進めていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・必要に応じて質問に答えたり、わかりやすい内容の計画を立て、送迎時などに支援内容の説明を行い同意を得ている。	保護者がより理解しやすい提示方法や振り返りの機会を工夫し、同意形成をより丁寧に進めていきたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・モニタリング時や送迎時、LINEでの相談にも応じている。 ・書面でのやり取り（学校、病院）や心理師との面談の機会を作っている。	保護者がより相談しやすい場や情報共有の方法を増やし、より安心して悩みを話せる環境づくりを進めていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている	0	7	・検討しているが、実現できていない。	KBグループの他教室の保護者会の開催内容などを参考に開催していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・支援に直接かかわる情報は迅速に周知対応するようにしている。	記録様式の整備や周知方法の見直しを進めることで、保護者がより安心して意見を伝えられる体制づくりを進めていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月、通信と予定表の発行を行い、毎日SNS（フェイスブック、インスタ）で発信している。	保護者が必要な情報をより見つけやすく整理し、伝わりやすい形で発信する工夫を進めていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・個人ファイルなど書庫で施錠管理している。	職員間での確認体制をさらに見直し、より安全性の高い管理体制を整えていきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・写真やジェスチャーを使用するなど配慮している。	児童の特性に合った、より多様な伝え方の工夫を進めていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	・地域住民を招待するイベントは行っていない。 ・活動で地域のごみ拾いを行っている。	・できる範囲で地域への情報発信など開かれた運営を進めたい。 ・地域との交流の場をもう少し具体的にするとよい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルを策定し、毎月、避難訓練を行っている。一つのファイルにまとめ、いつでも見ていただけるようにしている。	各マニュアルの内容をより実践に即したものに更新し、職員全体で共有する研修機会を増やしていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・BCPを策定している。毎月1回、避難訓練を実施している。	マニュアルの要点を現場で確認しやすい形に整理し、迅速な行動につなげていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・インテーク時に情報収集を行っている。	日々の変化も把握できるよう、職員間で共有方法をさらに整備していきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・医師より指示されている保護者より情報をいただき対応をしている。 ・職員全員にわかるように掲示されている。	定期的な確認と更新の流れをより整備し、周知方法の見直しにも取り組んでいきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成している。	職員への周知や定期的な訓練など、しっかりと行っていくたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・毎月の通信に取り組み、内容を載せて報告している。	保護者がより理解しやすい形で伝わるよう、周知方法の工夫を今後検討していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・受け入れ前ミーティングや職員グループLINEにて共有し再発防止案を検討している。	検討内容をより体系的に残せる仕組みづくりについて今後検討していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・虐待防止の研修を定期的に行っている。	日々の支援場面での気づきを共有する機会をさらに増やし、職員全体で理解を深めたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・個別支援計画書に記載したり、同意書をいただいたりしている。	職員間で具体的な判断基準の共有をより丁寧に行い、保護者への説明方法も分かりやすく工夫していきたい。